

# 北条APF通信 No.1

発行元・問合せ先：北条旧市街地まちなか再生エリアプラットフォーム  
(事務局：加西市きてみて住んで課 ☎0790-42-8764)

※ 北条 APF（エリアプラットフォーム）とは？ まちなか再生にむけたビジョンの策定や具体的な取り組みを検討する場です。お住まいの方、お商売をされている方など“北条旧市街地”と繋がりのあるみなさん、行政、まちづくりアドバイザーとともに取り組んでいます。

・次回会議・

2023年7月25日(火)  
19時～@まちなか春陽堂

議題

生活の場としての視点  
観光地としての視点から  
まちの魅力と課題を考える

## 今年度は「まちの将来像」を検討します

これまでの計画へ新しい視点を追加し、  
これからどのようなまちを目指していくかを考えます

北条旧市街地まちなか再生エリアプラットフォーム（略して北条 APF）では、まちの目指すべき姿を今一度共有しようと、「まちの将来像」を検討しています。これまでの計画や実践を踏まえながらも、新たな視点を取り入れ、まちなか再生をさらに進めるため、改めて下記の①から⑤に取り組んでいます。

北条旧市街地が、どんなまちになればいいか。みなさんも、ぜひ一度考えてみませんか。

また、①の取り組みの一つとして、すでに空家調査を進めつつあります。情報提供等、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

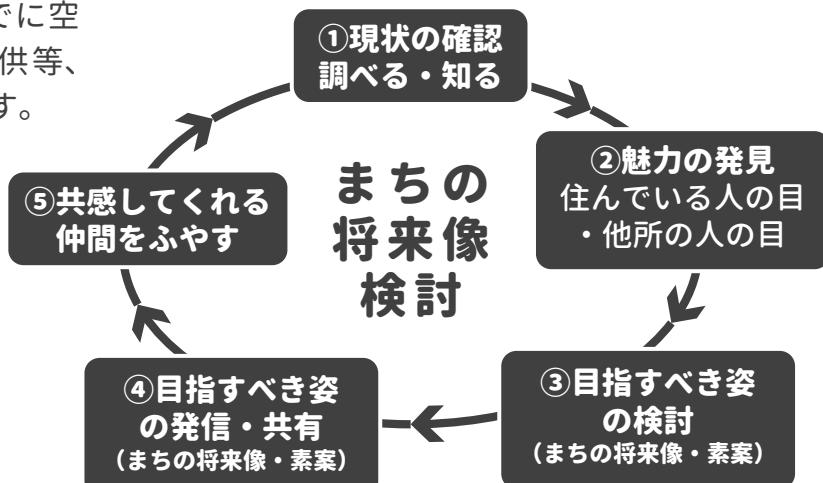
### ★北条の良いところ・残したいところ

- ・不便の中の良さ
- ・こじんまりして生活しやすい
- ・特別なものはないが普通が味わえる
- ・わざわざ来る場所
- ・住んでよし、来てよし、見てよし
- ・余白をたのしむことができる
- ・良い建物が残っているので存続させていきたい
- ・歩くのがスキな人向きのまち
- ・通学路とて楽しいみち
- ・ベビーカーで散歩していたらいろんな人が声をかけてくる
- ・まち（都会）の人は歩く人が多い。歩く人にとっては生活しやすいと言ってもらえる

### ★現状

- ・これまでの6年（コロナ禍含む）でも変化があった、厳しい状況を向かえている
- ・空き家が空き地へ変わっている
- ・道路が狭い
- ・地域の人は車で移動するため、車が多くて散歩しにくい
- ・どんなまちか説明できない

### これまでに出た意見（抜粋・要約）



### ★「目指すべき姿」に取り込みたい要素

- ・新しい時代がきている今がタイミング
- ・これまでと違う目線を入れる
- ・①②について、北条ならではのものを探していく
- ・新しいもの（視点）を考えていきたい
- ・みんなにとってわかりやすいものがよい
- ・子供にとってもおもしろいもの
- ・今、これからのにぎわいをどう考えるかが大切
- ・歴史と文化を活かすもの
- ・北条ならではのものを探す
- ・ビジョンは10年先を考えるか、5年先を考えるかでちがう。